

元気森森®

「元気森森®」とは、木材から作られた養牛用の飼料。
日本製紙の技術を生かして、国内調達した木材から牧草にも含まれ
牛が消化しやすい高純度のセルロースだけを取り出したものです。

1 増茂デイリーが選んだ 森の飼料、

「えっ？牛に木を食べさせるの？面白いなあ」。酪農家の増茂さんが
元気森森®に抱いた第一印象だ。

HACCP認証農場の増茂デイリーは、60年近く前に増茂さんの父親が牛1頭
から酪農業を始めた。少しずつ規模を拡大していきながら、昭和63年には80頭数
規模で、ヘリングボーン式バーラーの牛舎を稼働させ、20年ほど前に増茂さんが脱サ
ラをして家業に加わってからは、令和元年にロボットの牛舎が稼働を始め、今では飼養
頭数およそ360頭を数えるほどになった。

増茂デイリーの安心安全な牛乳は、農協に出荷するのではなく、(株)ラクテックスを通じ
て販売される。同社は牛乳の販売と飼料の製造販売を展開し、増茂デイリーの飼料もま
た同社が一手に納めている。「増茂さんから指示をいただきながら調整しています」と話
す専務の広沢清昭さんと増茂さんは旧知の仲だ。給与する飼料の特徴は、近隣の食
品工場から出る食品残渣を活用した発酵飼料。主な原料
は、生のおから、パynaップル、ビールかすなど。それらを
牧草や配合飼料と混ぜて発酵させているという。



ごはんが美味しいと
体調良いデス。



木材から消化率の高いセンイを取り出す技術

増茂デイリーの
エサ
元気森森入り
TMR



木材から牛が消化しやすいセンイだけを取り出し、濃厚飼料の特徴で
あるエネルギー摂取効率の良さと、粗飼料の特徴であるセンイ質の緩
やかな消化・吸収という、双方の良い点を併せ持っています。



国内で木材を調達



リグニンを取り除く



元気森森が完成

木から作った牛のエサ

国産の



2 悩みを解決！ 答えは「木」にあった

増茂さんの悩みの種はコスト面。このところ、輸入飼料は輸送網や為替
の影響で価格が大きく変化し、どこの牧場も高騰する飼料価格に頭を抱えて
いる。ラクテックスの飼料も半分以上は輸入に頼らなければならない状況だ。

また、夏場の乳脂肪率の低下も大きな課題。増茂デイリーのある伊勢崎市は寒
暖の差が大きく、特に夏は気温が40度近くまで上昇する。酪農には過酷すぎる環境
下において、牛は暑熱ストレスで食欲が落ちたり栄養バランスが崩れてしまい、乳質
にも問題が出てくる。

課題が山積のなか、増茂さんが元気森森®の存在を知ったのは、大きく掲載さ
れた新聞広告。木を原料とした国内飼料というユニークな発想に興味を持ち、
元気森森®を開発した日本製紙へ問い合わせたことが、実際に使用する
きっかけとなった。



3 暑さに負けない！ 乳脂肪も繁殖も向上

夏場の乳脂肪対策として、暑くなる前の昨年4月から給与を始めた。通常の
メニューに上乗せして元気森森®約1.7kgを与えたところ、「暑くなくても、エサの
食い付きが落ちずに規定量に加えて上乗せした元気森森®をきちんと食べきって
いる」と増茂さん。すると、夏場の乳脂肪率の低下にも効果が現れ出した。例年と比較
すると下がり方が緩やかで対策として使っている高価な添加剤を例年の半量に減らし
ても今年は出荷先から乳脂肪のクレームがなかった。さらに牛の繁殖で厳しい酷暑にお
いても、今まで以上に良い発情の兆候が見られたという。

夏場の繁殖は、いかに牛のコンディションのいい状態を維持できるかにかかっている。
「おいしく、栄養価が高く、食べやすい餌が一番大事。元気森森®を上手に活用して、い
い成績を出したい」と目標を掲げる広沢さん。ひと夏過ぎて乳脂肪と繁殖の効果を実感
した増茂さんは「乳量も向上させたい。今年の夏はワンランク上の結果が出れば」と、
期待を寄せる。「夏場の乳脂肪含め暑熱対策でお悩み酪農家さん、繁殖成績の良
くない牧場さんにぜひおすすめしたいですね」と増茂さんは語ってくれた。

この夏は絶対あきらめない！

乳脂肪

国内製で安定供給
高エネルギーのセンイ
消化が緩やか

今から
備えて

アップ
を目指す！

元気森森®で、実感続々！



木から生まれた 牛のエサ



元気森森®

消化率向上

乳成績向上

繁殖成績改善

健康維持

ユーザーさま*からご評価を
いただいています

*酪農家様、繁殖農家様、肥育農家様、TMRセンター様



夏のお悩み「乳脂肪率の低下」対策に、
木から生まれた牛のエサ「元気森森®」。
実際にご利用の酪農家様たちから、「キープできた」
「乳脂肪率が向上した」とのお声が届きはじめました。
この夏に向けて、わたしたちと二人三脚で、
乳脂肪対策に取り組んでみませんか？

まずは！

テスト用サンプルご協力します!!
実際に使って効果を実感してください!!

実際の
導入事例は
コチラ！



お問い
合わせは
コチラ！



TEL.03-6665-1020

FAX.03-6665-0337

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-6(御茶ノ水ソラシティ) バイオマスマテリアル販売推進部

日本製紙株式会社